

2021年4月28日

福岡県知事

服部 誠太郎 殿

UAゼンセン福岡県支部

支部長 西 央 人

新型コロナワクチンの円滑な接種対策などに関する要請

UAゼンセンの組合員は、新型コロナウイルスの影響が長期化する中で、医療・介護、小売、飲食、ホテル、物流・交通、医薬品等製造販売など、顧客と接し感染リスクが高い業種や生命に係わる業種で多く働いています。

現在、医療従事者や高齢者に対する新型コロナワクチンの優先接種が進められていますが、一部の地域で感染再拡大の兆候も表れており、予断を許さない状況が続いています。

福岡県においてコロナ感染の第4波を回避するためには、ワクチンの円滑な接種体制の構築、感染防止策の徹底、病床の確保、変異株や無症状者に対する検査体制の強化などが求められます。

つきましては、労働者が安全で健康に、そして安心して就業が続けられるよう、特にワクチンの円滑な接種対策と感染防止など地域の暮らしを守る対策について、下記のとおり要請致します。

記

1. 新型コロナワクチンの円滑な接種対策

- (1) 市町村が居宅サービス事業者の従事者を高齢者施設の従事者に含める場合に適切かつ迅速な判断が行われるよう、市町村との連携を強化すること。特に、感染が再拡大している地域については、居宅サービス事業者の従事者を高齢者施設の従事者に含める場合に国が示す要件に基づき、病床のひっ迫程度を精査するなど、早急な準備をおこなうこと。
- (2) 優先接種の対象となる労働者や住民がワクチンに関する情報を適切に得ることができる情報提供体制を早急に整備すること。
- (3) ワクチンの接種は対象者自身が判断することを前提に、接種を希望しないことで差別を受けない対策を講じること。

2. 感染防止など地域の暮らしを守る対策

- (1) 住民に対し、政府分科会が示す「新しい生活様式」の定着や「感染リスクが高まる5つの場面」の回避、「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」の周知を一段と強化すること。

- (2) 事業継続が強く求められる医療・介護、小売、保育、物流・交通など、特に顧客に接する職場におけるPCR検査等の実施やマスク、手袋、消毒液、アクリル板等の優先的確保を支援すること。
- (3) マスク着用や手指消毒、来店時間帯の分散、一定時間内の滞在、来店人数の制限など、顧客に対する感染防止対策の周知徹底を行うこと。あわせて、飲食店における感染防止対策について、厚生労働省が作成した、飲食店側が利用客に対して働きかけやすくするためのチラシや店内掲示物などの活用を促すこと。
- (4) 感染拡大の長期化で地場産業や業種（飲食店・観光業・イベント業・百貨店など）が窮境に追い込まれている状況を踏まえ、「地域在籍型出向等支援協議会」の充実・強化を図り、出向による雇用維持を支援することや事業継続あるいは生活支援の対策を講じること。

以 上